

令和4年度第3回理事会議事録

日時：令和4年7月16日（土）13時26分～15時50分

場所：鹿児島県看護研修会館2階研修室

I 理事会の構成

理事：17名 監事：2名 合計19名

II 理事の出欠確認

出席理事 16名

会長 八田冷子（代表理事）

副会長 田畑知子

副会長 渡邊和代

専務理事 今村 恵

常任理事 林 恵子

職能理事 潟山勝美、谷川智子、柳田千草

准看護師理事 徳永博子

地区理事 西野富士子、牧枝さとみ、久保田祥子、新井田香、寺師真理子、
近間眞由美、正岡ゆかり

欠席理事 1名

職能理事 小田房子

III 監事の出欠確認

出席監事 2名（全員出席）

永山広子、岩重洋一

IV 会長挨拶（略）

V 定足数の確認

定款第40条に基づく議決に加わることができる理事16名（会長＝議長は除く）のうち15名の出席は、議決に加わることができる理事16名の過半数8名以上であることから本会は有効に成立することを確認した。

以後、会長（定款第39条）が本会の議長となり、以下のとおり進行した。

VI 協議事項

1 基本方針に関する事項

1) 令和5年度事業に係る県知事への予算等要望書について

会長は、次のように説明した。

要望事項の大項目は、昨年度同じである。県看護協会の重点事業に沿う形で3項目あげて

いる。1 番目の看護職員の人材確保・定着支援については、1) ナースセンターの拡充と強化、2) 次世代を担う看護人材確保のための看護の魅力の発信、3) 病院内保育所運営費補助事業とした。

2 番目の看護の質向上については、1) 看護師養成校における教員確保対策、2) 新型コロナウイルス感染症の影響に係る新人保健師卒後フォローアップ体制の強化、3) 特定行為研修修了者の増加対策及び研修補助対象施設の拡大とした。

3 番目の訪問看護提供体制の強化については、1) 訪問看護総合支援センターの設置の検討、2) 新卒訪問看護師受入れ事業所と看護学生とのマッチングに関する支援である。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

なお、要望事項 1 - 3) 病院内保育所運営費補助事業については、需要の実態を踏まえ、特に働く世代への支援は必要であると思うので、内容・表現について検討することとした。

2) 令和 4 年度通常総会における質問・意見への対応について

専務理事は、次のように説明した。

看護師養成校における実習補完事業の看護協会への取組に対して謝辞を受けるとともに、令和 4 年度以降の人材派遣への協力依頼があった。これに対し、当協会としては、県の委託事業としての取組は令和 3 年度で終了したが、県看護協会有償ボランティア登録者の紹介等で看護師養成校へ引き続き支援をしたい旨回答。今回、これを受けて有償ボランティアの意向調査を行ったところ。今後、有償ボランティアの周知に向けて協会のホームページへの掲載や施設代表者へのメールなどを検討している

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2 事業推進に関する事項

1) 障害者支援施設等の感染防止対策のための相談・支援事業について

専務理事は、次のように説明した。

当該事業は、県・市からの委託を受けて行っている事業で、障害者福祉サービス施設・事業所等を対象に、感染相談窓口の設置や専門家による相談支援などを行っているもの。前回 5 月 13 日の理事会でも継続実施でご承認いただいたが、今回は新しい理事の方もいらっしゃるので再度説明することとしている。

なお、令和 4 年度は国の補助がなくなり、県・市において予算化が厳しい状況になったとのことだが、県・市において、予算化に向けて検討する旨、協会へ説明があったので本協会の事業としては進めていきたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

2) 訪問看護供給体制確保事業について

専務理事は、次のように説明した。

県からの委託事業であり、看護師養成校新卒者や訪問看護未経験者等の積極的な人材確保を行うもの。今回は新卒等看護師教育プログラム（2・3年目）の作成をすることとしている。また、医療機関・事業所間の意見交換・交流会等については、令和3年度は鹿児島と南薩で実施したところであり令和4年度についても実施することとしている。

これについても、前回理事会で承認はいただいている事業である。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3) 地域に必要な看護職確保推進事業について

常任理事は、次のように説明した。

本県の看護職確保の方針に基づき、県全体の覚悟職確保の現状と課題を踏まえ、看護職の不足が見込まれる、曾於圏域・熊毛圏域の中から、今回は曾於圏域の現状・課題について、医療・介護施設で就業する看護職の確保と看護職を目指す人材を育てる活動の推進を目標としてこの事業を実施する。

これについても、前回理事会で承認はいただいている事業である。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

3 管理的事項

なし。

4 会員支援関係

- 1) 日本公衆衛生協会会長表彰候補者の推薦について
- 2) 基盤強化「入会促進活動」について

VII 報告事項

1 事業推進に関する事項

- 1) 教育事業について
- 2) ナースセンターに関連した事業について
- 3) 新型コロナウイルス感染症に関する看護師派遣調整事業について
- 4) 助産師活用推進事業について
- 5) 日本看護協会通常総会について
- 6) 全国職能別交流集会について
- 7) タスク・シフト/シェアの推進下で厚生労働省大臣指定講習会について
- 8) 燃ゆる感動かごしま国体及び燃ゆる感動かごしま大会における医師・看護師派遣

2 管理的事項

- 1) 議事録（第1回・第2回）

2) 令和4年度鹿児島県看護協会役員及び委員会委員について

3 会員支援関係

1) 令和4年度日本看護協会会長表彰者について

2) 令和4年度鹿児島県看護協会会員数

4 その他(一部当日配布・回覧)

(1) 職能委員会報告(書面報告)

(2) 地区報告(書面報告)

(3) 委員会報告(書面報告)

(4) 地区長情報交換会報告(口頭報告)

(5) 他団体会議報告(書面報告)

(6) 出張報告(県外)(書面報告)

以上、議長は協議事項が全てを終了した旨を告げ、15時50分に閉会した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、次のとおり署名する。

令和4年7月16日

公益社団法人 鹿児島県看護協会

代表理事(会長)

八田 冷子



監

事

永山 広子



監

事

岩重 洋一

